

(お知らせ)

2020年7月28日

NTT西日本 徳島支店

「とくしま協働の森づくり事業」パートナーシップ協定締結が披露されました

NTT西日本グループは、「ICTが社会の課題解決に重要な役割を担っている」という考えのもと、SDGs（持続可能な開発目標）の動向を踏まえCSR活動方針を策定しています。具体的には5つのCSRテーマ（\*1）と、それに基づくCSR重点活動項目を設定しCSR経営を推進しています。

この度、NTT西日本徳島支店（支店長 佐々木保彰）は、CSRテーマの一つである「環境と共生した社会づくり」に向け、徳島県と徳島森林づくり推進機構との間で「とくしま協働の森づくり事業（\*2）」パートナーシップ協定を締結しました。

本事業は、県民や企業・団体が良質な水資源の確保や二酸化炭素の吸収など森林の持つ公益的機能を発揮させるとともに、県民総ぐるみで「徳島県の豊かな森林」を次世代に引き継ぐことを目的に取り組んでいるものです。

新規に協定を締結した弊社ほか3企業・団体に対する協定披露式、および長年にわたり事業に参画をしている5企業・団体への感謝状贈呈式が7月28日に徳島県庁で行われました。

なお、弊社は徳島県海部郡海陽町の森林を植栽で支える事業に参画いたします。

私たちNTT西日本グループは、「ソーシャルICTパイオニア」として企業・自治体・教育・医療・観光など様々な分野で社会の課題解決に貢献し、地域から愛され信頼される企業として変革し続けるとともに、地域を元気にしていく「ビタミン」のような役割を担っていきます。

以上

（\*1）NTT西日本5つのCSRテーマ：

- ①「人・モノ・地域がつながる安心・安全な社会づくり」、②「イノベーションの創出による豊かな社会づくり」、③「環境と共生した社会づくり」、④「いきいきと輝く社会づくり」、⑤「コンプライアンスの徹底」

（\*2）「とくしま協働の森づくり事業」とは：

- ・企業・団体と徳島県、徳島森林づくり推進機構の3者が森づくりに取り組む協定を結び、カーボンオフセットの手法を活用できるよう整備した森林のCO2吸収量を認定するしくみ
- ・企業・団体、徳島県、徳島森林づくり推進機構の主な役割
  - 【企業・団体】：森づくりへの協力（寄付）など
  - 【徳島県】：整備した森林における森林CO2吸収量の認定など
  - 【徳島森林づくり推進機構】：森林整備の実施など
- ・平成21年6月のスタートから令和元年度末までに158企業・団体とパートナーシップ協定を締結